

生活支援ロボットの開発にむけた

介護・福祉ビジネスのポイント

～市場規模 4000 億円超※ 中小企業の技術参入を狙え～

介護・福祉分野へのロボット技術の導入の機運が高まっています。

同分野でのロボット産業の市場規模は、今後飛躍的に拡大することが予見されており（※2035年に4,043億円
〔出典：NEDOロボットの将来市場予測〕）、中小企業の技術的な参入の可能性に大きな期待が寄せられています。

しかし、介護保険等の公的給付による市場の特異性や開発におけるニーズの把握など、同分野への技術参入のためには企業が理解すべき点や課題が多く存在しています。

本セミナーでは介護保険制度、介護・福祉現場のニーズや福祉機器開発の企業事例について紹介します。

〔日 時〕平成26年 **12月10日(水)** 18:30～20:00

〔会 場〕相模原市民会館 2F 第2大会議室（相模原市中央区中央3-13-15）

〔受講料〕**無 料** 〔定 員〕**60名様**（申込先着順）

〔主 催〕さがみはらロボットビジネス協議会

〔セミナー内容〕

- ①介護保険の福祉用具について（相模原市）
- ②介護・福祉施設における福祉機器ニーズについて（社会福祉法人相模福祉村 理事長 赤間 源太郎 様）
- ③【企業事例】福祉機器開発における課題（㈱ハーツエイコー 代表取締役 浅井 悦男 様）

FAX 申込 042-753-7637 または メール t-takai@sagamihara-cci.or.jp まで

事業所名			
参加者氏名1	役職（所属）		
参加者氏名2	役職（所属）		
連絡先電話番号	FAX番号		
Ema i l			

お問い合わせ：相模原商工会議所 産業振興課 高井 TEL 042-753-8136

「さがみはらロボットビジネス協議会」は、企業、大学、行政、金融機関、支援機関のネットワーク構築により、ロボットをテーマとした技術開発の促進、市場拡大など中小企業のビジネス支援を通じ、相模原のロボット産業活性化を推進しています。